

方針案の内容の各機関等及び市民への説明の結果について

(平成22年8月25日現在)

平成22年8月27日 公共施設再配置計画担当作成

1 機関等

<p><b>8月17日(火) 議員連絡会</b></p> <p>特になし（意見等がある場合は、会派ごとに取りまとめのうえ、9月中旬ごろまでに提出願う旨を依頼）</p>
<p><b>8月20日(金) 教育委員会会議</b></p> <p>① 社会教育委員会の議事録を見ると、社会教育委員との間で議論がかみ合っていないように見えるが、その点については、どのように受け止めているのか。</p> <p>[回答] 考え方の違いである。社会教育委員は、公民館がなくなると思っているのかもしれないが、機能はできるだけ残しながら面積を削減していくのが提言とそれを受けた方針案の内容である。公民館機能は、学校施設とともに地域コミュニティの拠点として位置付けたいと考えている。公民館に限らず、どの施設の関係者にもそれぞれの立場で反発があるのは当然と思っている。</p> <p>② 公民館活動の縮小、埋没の懸念があるのではと思っている。行革のことも考え合わせると、公立幼稚園の民営化や指定管理者の導入とともに、公民館には実務的なものだけが残るのではと疑心暗鬼になっているのではないか。</p> <p>[回答] 民営化には人件費削減以外にもサービス充実などのメリットも多い。民営化がいかどうかの具体的な判断は、今後多くの意見を聴いて検討することとなる。築20年を超えている建物も多く、今後は改修費用も増える。今のままでは、公民館の建替えすらできなくなる。</p> <p>③ 教育委員会の意見を受けて、方針案の内容が変わることはあるのか。</p> <p>[回答] 基本方針などの根本的な部分に関してはないと考えている。</p> <p>④ これから幼稚園を公教育として行うことの意義について考えていこうとしているが、財政面のことを言われれば、何もできなくなってしまう。子どもの学びの成果は、数値化するなどの客観的なデータをとることができない。教育委員会は、そうしたものを議論していかなければならない立場だ。客観的データがなければ取り扱えないとなれば、教育委員会の意義がなくなってしまう。</p> <p>[回答] 公立幼稚園に関しても、これまでは、客観的なデータを基に議論されてこなかったが、再配置計画は、実効性を担保した計画としなければ意味がない。</p> <p>⑤ このような状況下では、やはり義務教育優先となるだろう。社会教育委員にも義務教育を優先でやらなければいけないことを示す必要があるのではないか。また、この方針ありきとするならば、秦野の教育を考え直さなくてはいけないので、よくすり合わせる事が大事だ。</p> <p>[回答] 全ての試算の基礎には、義務教育施設を維持することが置かれている。また、方針は、10年ごとに状況に合わせたローリングを行っていく。</p> <p>⑥ 西公民館と西中学校の複合化は、具体的になるのか。</p> <p>[回答] シンボル事業として計画に入れようと考えている。教育委員会の施設なので、一方的に方法論を押しつけることにはならない。市長部局と教育委員会が一体となって、具体的な部分は考えていくべきだと思っている。</p>

2 市民

8月18日(水) 北地区市政懇談会(出席者:約40名)

① 優先順位の最終決定はどのように行うのか。

[回答] 委員会からの提言に基づいて、方針案として示した。最優先以外は、現段階では明確になっていないが、アンケート結果等の市民ニーズを見ながら計画に位置付けていきたい。

② 地区ごとの施設の多い、少ないによって残る施設が決まってしまう恐れがある。地域の意見も聴きながら決めてほしい。

[回答] 地区ごとの現状にもばらつきがある。現状も把握しながら地区の実情に合わせて考えていきたい。いずれにしても、納税者である市民も利用者である市民も同じテーブルで議論することが大事である。全てを公開しながら検討を進めていきたい。

地区人口(H20・10・1) 13,968人(8.2%)

地区面積 1,972ha(19.0%) うち市街化区域 9.9%

主な公共施設 幼小中各1・公民館1・児童館3・表丹沢野外活動センター・里山ふれあいセンター

8月19日(木) 本町地区市政懇談会(出席者:約70名)

① ハコモノが厳しい状況にあることがわかった。しかし、公共施設白書を見ると、曾屋ふれあい会館は、平成19年度には約3万5千人の利用がある。この数は、上や渋沢公民館よりも多く、南公民館や大根公民館に匹敵し、混雑する本町公民館の補完的役割も果たしているとある。見直し対象かもしれないが、利用者は増加傾向にありコストも低いので、残してもらいたい。

[回答] 面積は3割減るが、共用化などの工夫により機能は維持できるように努力していく。具体的な部分は、計画の中で明らかにしていきたい。

② ハコモノは増やさないという方針は明確であり、評価する。計画は、客観的データに基づき進めてほしい。ただし、総合計画、行革プランも含め、市として何の施策を優先するのかがわかりにくい、人づくりは大事である。教育には力を入れるべきではないか。

[回答] 高齢者も大事だが、あらゆるものを犠牲にしてでも、子どもたちをしっかりと育てていきたいと考えている。(市長答弁)

地区人口(H20・10・1) 21,625人(12.7%)

地区面積 620ha(6.0%) うち市街化区域 68.7%

主な公共施設 幼小各2・中1・保育園1・公民館1・児童館1・曾屋ふれあい会館・はだのこども館・末広ふれあいセンター・ほうらい会館・中野健康センター・くずはの家

8月20日(金) 南地区市政懇談会(出席者:約80名)

① 他市で文化会館や公民館を休止するというニュースを見たが、秦野市でも大変な状況であることがよくわかった。

地区人口(H20・10・1) 31,657人(18.7%)

地区面積 866ha(8.4%) うち市街化区域 34.7%

主な公共施設 幼3・小中各2・保育園1・児童館3・公民館2・文化会館・図書館・総合体育館・中央運動公園・保健福祉センター・なでしこ会館

<p>8月23日(月) 西地区市政懇談会(出席者:約80名)</p> <p>① ハコモノの見直しが進むということだが、秦野市の特徴的なものは残してもいいのではないかと。例えば、幼稚園など。財政的には厳しいのだろうが、市にそういう特色があってもいいのではないかと。</p> <p>② 現在の公民館の機能を存続させてほしい。公民館は地域との接点である。常勤の課長補佐クラスの館長も存続させてほしい。</p>
<p>地区人口(H20・10・1) 39,725人(23.4%)</p> <p>地区面積 1,884ha(18.2%) うち市街化区域 28.8%</p> <p>主な公共施設 幼小各3・中1・保育園1・公民館3・児童館5・曲松児童センター・桜土手古墳展示館</p>
<p>8月25日(水) 鶴巻地区市政懇談会(出席者:約40名)</p> <p>① 新しいハコモノは作らないという方針であるならば、今ある施設をどのように使うのが大事だ。公民館などは、子育てに必要な学習、高齢者のための学習の機会をもっと実施するなどして、生涯学習の拠点として積極的に活用してほしい。</p> <p>[回答] 公民館の利用は、現状では貸館が中心である。今日は概要の説明にとどめているが、方針案の中には、学校も含め、公民館機能は地域コミュニティの拠点として位置付けているので、公民館機能の積極的活用を検討していきたい。</p>
<p>地区人口(H20・10・1) 15,654人(9.2%)</p> <p>地区面積 242ha(2.3%) うち市街化区域 58.2%(大根地区との合計)</p> <p>主な公共施設 幼小中各1・保育園1・公民館1(児童館含む)・おおね公園・サンライフ鶴巻・弘法の里湯・宮永岳彦記念美術館</p>
<p>8月26日(木) 上地区市政懇談会</p> <p>(次回委員会において報告)</p>
<p>地区人口(H20・10・1) 2,625人(1.6%)</p> <p>地区面積 1,249ha(12.0%) うち市街化区域 1.4%</p> <p>主な公共施設 幼小各1・公民館1・児童館1</p>
<p>8月30日(月) 大根地区市政懇談会</p> <p>(次回委員会において報告)</p>
<p>地区人口(H20・10・1) 28,081人(16.5%)</p> <p>地区面積 616ha(5.9%) うち市街化区域 58.2%(大根地区との合計)</p> <p>主な公共施設 幼小各2・中1・保育園1・公民館1・児童館2・広畑ふれあいプラザ</p>
<p>9月1日(水) 東地区市政懇談会</p> <p>(次回委員会において報告)</p>
<p>地区人口(H20・10・1) 16,442人(9.7%)</p> <p>地区面積 2,912ha(28.1%) うち市街化区域 6.5%</p> <p>主な公共施設 幼小中各1・公民館1・児童館1・田原ふるさと公園</p>

※ 主な質疑・意見等の欄は、公共施設再配置計画担当の職員が説明員として出席した際のメモを基に作成したものであり、各会議の事務局が作成する会議録の内容とは表記が異なる場合があります。